

地域学校薬剤師会研修会 報告書

2018年10月22日 アミュゼ柏

千葉県学校薬剤師会

副会長 藤波 宏忠

松戸・柏・野田・我孫子・流山市の5支部学校薬剤師会研修会として、アミュゼ柏にて小児アレルギーエデュケーターの石黒奈緒先生をお招きし、「薬剤師もここまでできる！食物アレルギーを通じた学校薬剤師活動～地域に根ざした薬局を目指して～」をテーマにご講演頂きました。（参加者42名）石黒先生は保険薬局へ勤める傍ら、病院薬剤師としてもご活躍されており、最新の食物アレルギーの治療や検査方法について、分かり易く解説頂きました。検査で抗体があることが分かっても、それが食物アレルギーを起こすことと同意義では無いことや、子供の成長を考えると、完全な除去食は解決策となり得ないことなど様々な話題が続き、興味が尽きませんでした。学校関係者や保護者の方にぜひ知って置いて頂きたい内容だと思います。

また、講演の最中にエピペンの取り扱い方も行い、参加者一人一人がそれぞれトレーナーを用い、正しい使い方を学ぶことができました。事故例を参考にし、暴れる可能性のある児童生徒へ安全に投与する抑えつけ方など紹介され、普段の業務からではなかなか学べない実践的な研修でした。

後半には石黒先生の取り組まれている学校薬剤師としてのご講演活動が紹介され、学校での研修の大切さや、それを通しての地域での薬剤師活動の広がりを知ることができました。参加者一同とても熱心に聞き入り、あっという間に講演時間が終わってしまい、大変有意義な研修でした。ご講演終了後も質問が続き、会場の後片付けが終わっても次から次へと参加者から石黒先生への声掛けが絶えなかったことは強く印象に残っています。今回の講演を通じて、地域で食物アレルギーについての知識や、薬剤師の活動が広がると素晴らしいと感じます。

